

News letter vol.292

2015年8月3日：産業機材事業本部 株式会社ゴーセン

「第44回ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップ ソフトテニス2015」が開催されました！

6月24日～28日、北海道札幌市にて、恒例の「ソフトテニスの甲子園」と称されるゴーセンの冠大会である全国大会「ゴーセン杯争奪ハイスクールジャパンカップ」が開催されました。

今年も昨年同様、参加枠の拡大により、従来どおりの47都道府県から地区予選を勝ち抜いてきたチームと韓国から招聘した男女チームを含む21世紀枠の推薦校チームを加えた男女計72ペア、288名のダブルス出場選手と競技として定着した「男女シングルス」の出場選手男女各64名、計128名を合わせ、総勢416名が参加しました。

25日は開会式と組み合わせ抽選会を兼ねたレセプションが札幌市内のキリンビール園で催されました。

今年は、進行の効率化から組み合わせ抽選会が先に行なわれ、続いて開会式が行われました。

開会式では当社の酒井社長が挨拶し、選手たちにエールを送りました。選手たちは、開会式では緊張した様子でしたが、レセプションが始まり、ジンギスカンの肉を焼く音と煙が会場内に充満する頃になると、すっかりリラックスして笑顔を見せていました。



26日は朝から男女シングルの予選リーグ戦が行なわれました。初日でベスト4に絞られるだけに、選手たちは昨日の笑顔とは打って変わった「本気モード」に突入していました。予選の経過は、リアルタイムでゴーセンのホームページ上の専用サイトで更新され、全国のソフトテニスファンに最新の情報を発信しました。

また、大会初日から当社スポーツ用品部の社員は会場内に設営されたゴーセンテントブースにて、選手のガット張りや記念グッズ販売を行いました。また、今年も選手の表彰用のテントを設置し、そこにはテレビのスポーツインタビューでよく見かける「バックドロップ(ロゴボード)」を設置しました。また、同テント内には出場記念のメッセージボードを設けて、選手たちにメッセージを書き込んでもらい、大会を盛り上げました。

27日は、男女シングルの決勝トーナメントが行なわれました。

この日も試合結果はリアルタイムでホームページに掲載され、勝ち上がっていくペアの動向に注目が集まりました。シングルの決勝の後には男女のダブルスの予選リーグが行なわれました。

この日で上位20組に絞られ、最終日の28日には決勝トーナメントが行われました。



各競技の結果は、男子シングルスが岡山県岡山理大附属高校 上松俊貴選手、女子シングルスが和歌山県和歌山信愛高校 笠井祐樹選手、男子ダブルスが上宮高校(大阪府)内本・丸山組、女子ダブルスが米子松蔭高校(鳥取県)松本・小谷組が栄冠に輝きました。

ゴーセンは今後も若手選手の活躍を応援してまいります。

[本件に関する問い合わせ先]
株式会社ゴーセン
〒550-0013 大阪市西区新町1-4-26
ニッケ四ツ橋ビル 3階
Tel 06-7175-7115



ニッケグループ

う～るん